connect×review

■女性の服装のポイント

洋服	ブラックフォーマルを持っていなければ、濃紺かダークグレーのスーツを。夏場でも透けた素材や肌の露出が多いデザインのものは控えること
メイク・髪型	極力控えめに。本来喪服を着ているときは「片化粧」といって、口紅はつけません。派手なマニキュアもNGです！　髪はシンプルにまとめて
バッグ	小型で黒。かつ光沢がなくて、シンプルな布素材のものが正式です。持っていなければ、エナメル素材や派手な金具がついていないもので代用
靴・ストッキング	エナメル素材や、サンダル・ミュールタイプなどの靴は避けて、黒で装飾のないシンプルなものを。ストッキングのチョイスは黒が基本です！
アクセサリー	結婚指輪以外では、パールの一連ネックレスのみOK。ただし結婚指輪でも、石がついているものは手のひら側に回しておくことを忘れないで

これからの季節、コートの素材に要注意。防寒にはうれしい毛皮や皮革素材ですが、基本的に着てはいけないことになっています。色は黒かグレーのものを。ビジネスマナーと同じく、葬儀会場の建物内に入る前に脱ぎましょう

■香典について

筆文字／木戸綾子

表書き

表側

宗教や儀式の意味によって香典の表書きは違いますが、すべてに通用するのが「御霊前」です

水引の下、中央部に薄墨でフルネームを書きます。ボールペンを使用してはいけません

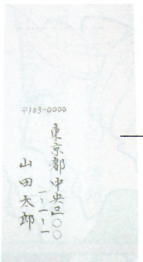
裏側

先に下を折ってから、上の折りを重ねます。返しが下に向くことで悲しみを表現しています

香典袋は多くの種類が売られています。目安として、香典金額が5000円くらいまでは水引が印刷されているシンプルなもの、1万円以上の場合は実物の水引がかかっているもの。また、蓮の花が印刷された香典袋は仏式のときにだけ使います

中袋の書き方

表側

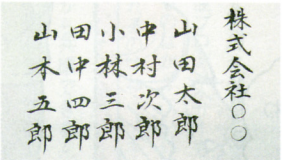


裏側

お札は向きを揃えて、表側（顔が書いてある面）が中袋の裏側になるようにして入れましょう。また、新札は避けるのがマナーですが、急を要してそれしか用意できない場合は、新たに折り目を付けて対応します

中袋に書く金額や住所・氏名は、遺族が香典整理（※表袋とは別々に管理）をするときに使用します。できる限り読みやすい文字で、住所は省略せずに郵便番号から書きましょう。金額は壱（一）、弐（二）、参（三）、阡（千）、萬（万）で

連名・グループの場合



グループの場合、別紙に全員の名前（個別の金額を入れてもよし）を書き、中袋へ。4名以上の連名の場合も同様

連名の表書きは目上から順に、右から左へ記入。4名以上の場合は代表者名を中央に、その左に小さめに「外一同」と書きます。中袋には全員分の住所・氏名を。グループの表書きには「○○会一同」や、「株式会社○○営業部一同」のように、全体を表す名称だけを書きます。中袋には代表者の住所のみを記入しましょう

市川 愛（いちかわ あい）

葬儀相談員市川 愛事務所 リリーフ代表。葬儀相談員。お葬式の事前準備サポートほか、講演、葬儀関連業者へのコンサルティングを行う。著作本は『身近に亡くなりそうな人がいたら読む本』（主婦の友社）など

お葬式のリスクマネジメント＆サポート www.re-lief.com

早分かり葬儀参列 www.sanretsu.jp

生活

お悔やみの言葉から服装まで

大人なら知っておきたい『弔事（とむらいごと）』の基本マナー

突然の訃報（ふほう）。静まり返るオフィスで、喪服の持ち合わせが…、お香典にいくら用意したら…などと、やけにオロオロしてしまったという経験はないですか？　何事も知っているのと知らないのとでは大違い。葬儀相談員の市川 愛さん、もしもの時の対応の仕方を教えて！

「上司（または同僚）の親族が亡くなられた場合、部署単位で香典や供花（くげ）を用意して、代表者1名が通夜、告別式のどちらかに参列するのが一般的。ただし、故人が上司の配偶者などで、葬儀が上司主宰のものであれば、手伝いを買って出たり、通夜、告別式に関係なく、行ける人から参列しましょう」

では、その時の服装は？

「そもそも通夜は、急な知らせを受けて駆けつけるもの。その席に、事前の用意が必要な喪服を着ていくことははばかられていました。けれど、今は訃報から通夜までに数日空くことも多く、その風潮は薄れています。告別式と同様にブラックフォーマルと呼ばれる、ワンピースとジャケットのアンサンブルやスーツの着用がふさわしいでしょう。持ち物は数珠、袱紗（ふくさ）と香典。L25世代が職場関係者に渡す香典金額は故人がどなたであれ、5000円が目安です。年上の方に多くを渡すことは、かえって失礼にあたることもあるんです」（同）

なるほど。これで事前の知識は万全。

「何よりも故人を偲（しの）ぶ気持ちが大切です。慌てないためにも、参列に必要なものを一式、手元に準備しておきましょう」（同）　（飯島七生／ISプレス）

忌（い）み言葉とは？

遺族に話しかける際は「このたびはご愁傷さまです」「お悔やみ申し上げます」など、なるべく簡潔にお悔やみを述べ、長々と相手の時間を取らせてはいけません。遺族は多くの弔問客に対し、同等に接しなければなりませんし、言葉によってはかえって遺族を傷つけてしまうことがあります。特に、以下に挙げた忌み言葉に注意をしましょう。

- **不幸がくり返されることを連想させる言葉** ……「くれぐれも」「たびたび」「また」など
- **不幸が続くことを連想させる言葉** ……「おって」「なお」「再び」など
- **大げさな表現、不吉な表現** ……「浮かばれません」「とんでもないことです」など
- **音が不吉な言葉** ……「四」＝「死」や「九」＝「苦」など
- **神式・キリスト教式では使わない言葉** ……「往生」「冥福」「成仏」「お悔やみ」など

ネタ元はこちら

『葬儀・法要・相続完全BOOK』（監：市川 愛／世界文化社／1680円）

危篤から臨終、葬儀と法要、遺言や相続などについての諸手続きに関するマナーや習慣を分かりやすく解説。火葬だけでも葬儀はできるの？　香典はいくら包むの？　密葬ってなに？　最近のお墓・納骨堂事情は？　フリーランスのお坊さん？など、気になる疑問に答えてくれる実用本。遺族側と参列側で分けて掲載されているので、置かれた立場でどうしたらいいかが一目瞭然